

# 令和5年4月 宝物館開館！



令和五年四月四日に宝物館が開館しました。従来と同様に、国宝の長谷川等伯・久蔵およびその一門が描いた金碧障壁画を公開收藏し、さらに寺宝を展示する特別展示室が設けられました。

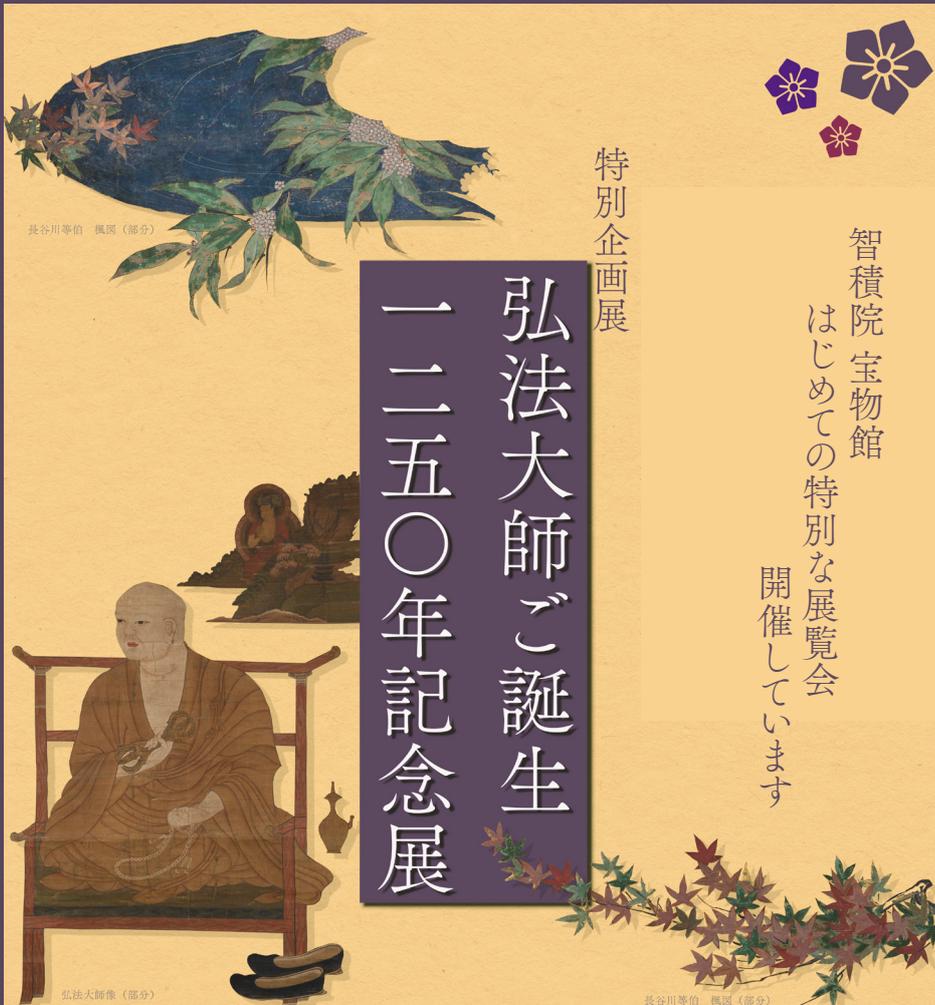
建物内には、山内に残る膨大な量の資料を保存する收藏室があります。充実した環境で保存すること、また調査を行うことが可能になりました。今後の展示では調査研究の成果をご披露する予定です。令和五年四月から令和六年四月記念すべき初の特別展示を開催しております。展示替えもを行いますのでお楽しみに！



真言宗智山派総本山智積院展示收藏庫

# 宝物館だより

vol.1



Special Exhibition  
1250th Anniversary The Birth of KOBO-DAISHI  
2023.4.4 - 2024.4.29

### 宝物館クイズ

この「密教法具」の名称は何でしょう  
\*答えは3ページ。



特別企画  
「弘法大師ご誕生  
一二五〇年記念展」

只今、宝物館の特別展示室では、弘法大師ご誕生一二五〇年にあたり、また宝物館の開館を記念して特別企画「弘法大師ご誕生一二五〇年記念展」を開催しています。智積院が空海の教え、興教大師の教えを受け継ぎながら密教を修する寺院として法灯を守り継承してきた歴史を、資料を通して知っていただけるような展示となっています。

ここでは、展示資料のうち弘法大師像と興教大師像の二点を紹介します。

会期中、展示資料の一部は展示替えを行います。展示期間は四ページに記載の展示目録でご確認ください。

◆弘法大師像

この弘法大師像は、伝持の八祖像のうちの一つとして伝わるものです。八祖とは、真言宗の法脈を伝えた八人の祖師のことです。龍猛、龍智、金剛智、不空、善無畏、一行、恵果、空海の八人です。八祖の肖像画は真言宗で行われる



弘法大師像 絹本着色 江戸時代

灌頂かんじょうという密教の教えを伝授する儀式の時に、その道場に荘嚴しょうげんされます。灌頂の荘嚴具として欠かすことのできない法具の一つです。現在この弘法大師像を含む八祖像は使用されていませんが、かつては智積院で行われる灌頂で用いられていたでしょう。八祖像は主として床しょうぎに座す姿で描かれますが、この弘法大師像については、背もたれのある椅子に座した姿で描かれています。こういった図様の弘法大師像を「真如親王様まにょしんおうさま」と称します。この様式の弘法大師像は広く流布しています。また、木箱には「元文二丁巳年十一月廿一日造」「僧正亮範そうしやうのりへ寄附」などとあり、元文二年（一七三七）に作られ、智積院十五世亮範（一六七〇～一七三九）の寄進により智積院に納められました。

宝物館のご本尊

もんじゅぼさつ  
文殊菩薩  
(卯年・四月の守り本尊)



梵字「マン」

宝物館では、ご本尊として十二支・生まれ月の守り本尊に定められている仏さまを梵字（サンスクリット文字）であらわして安置しています。梵字は児玉義隆先生（さいたま市・永福寺住職）の筆です。守り本尊は、十三の仏さま（十三仏）のうち八の仏さまが定められています。今回ご紹介するのは令和五年の干支である卯年と四月の守り本尊である文殊菩薩です。梵字は「マン」です。知恵を象徴している仏さまであることはご存じの方も多いでしょう。宝物館では、守り本尊として定められている仏さまを月に合わせて安置いたします。

◆興教大師像  
こうぎょうだいしぞう

智積院では真言宗の宗祖である空海（弘法大師）、新義真言宗中興の祖である覚鑿（興教大師）をお祀りしています。ここに紹介する興教大師の肖像画（下部写真）は、冬報恩講という法要の際にお堂に荘厳される掛け軸です。冬報恩講とは、十二月十二日に入滅した興教大師の法恩に報いるために執り行う行事で、十二月十日から十二日まで勤修されます。十二月十二日はご法事の法要が行われ、一般の方にも参拝していただけます。

期間中お堂の正面に掛けられるのが、この興教大師像です。

この興教大師は斜め前を向いて坐し、胸元に印を結んでいます。その手は衣の袖で覆われています。左上部の白い部分には『三界唯心釈』（覚鑿撰）からの引用が書かれています。別の興教大師像を転写したと考えられており、その元になつた肖像画（掛け軸）も智積院で所蔵しています。両軸には類似する特徴がいくつかありますが、大きく違うのは大きさです。別の興教大師像は十一月から令和六年一月の期間中に展示いたします。

冬報恩講

|     |     |      |    |    |
|-----|-----|------|----|----|
| 十二月 | 十日  | 本座   | 場所 | 金堂 |
|     | 十一日 | 出仕論議 | 場所 | 金堂 |
|     | 十二日 | 御法事  | 場所 | 金堂 |



興教大師像 京都府指定有形文化財  
絹本著色 縦 121.0cm×横 84.3cm  
鎌倉～南北朝時代（13世紀～14世紀）

Chishakuin's Historical Column

うんしょうぐら  
運敬蔵



京都府指定有形文化財

宝物館では智積院が所蔵する寺宝、文献資料の多くを保存管理しています。それらはかつて境内に散在する蔵で保存されてきました。その蔵の一つが「運敬蔵」です。運敬蔵は、智積院第七世運敬僧正が延宝二年（一六七四）に経蔵として建立した土塀の建造物で、運敬僧正が集めた経典などを納める蔵として現代でも大切にされています。蔵内の資料は宝物館に移動するにあたり燻蒸（害虫やカビなどの駆除）を

行い、所定の収蔵室に納めました。

運敬僧正は元禄元年（一六九三）九月十日に八十歳で示寂しました。智積院では運敬僧正の忌日に運敬蔵の扉を開けて法要を行います。その際には大福餅が供物に並びます。修学時代の運敬僧正には、智積院の近くの餅屋で売られていた「大仏餅」を、師匠のために買って帰ったというお話が伝わっています。



毎年9月10日 運敬忌  
お供物の大福餅

\* 1 ページ [宝物館クイズ] の答え  
「羯磨（かつま）」  
現在展示中です。是非ご覧ください。

# 弘法大師ご誕生 1250 年記念展

場所：特別展示室



## 展示目録

アルファベット A～D は下記の館内図のアルファベットと対応

出品期間

| 名称                   | 時代             | 員数  | R5.4/4～7/30 | 8/1～10/30 | 11/1～R6.1/30 | R6.2/1～4/29 |
|----------------------|----------------|-----|-------------|-----------|--------------|-------------|
| A 密教法具               | 江戸時代           | 1 式 |             |           |              |             |
| B 徳川家康朱印状<br>(智積院法度) | 江戸時代           | 1 通 |             |           |              |             |
| B 徳川家康朱印状            | 江戸時代           | 1 通 |             |           |              |             |
| B 徳川秀忠朱印状<br>(智積院法度) | 江戸時代           | 1 通 |             |           |              |             |
| B 徳川秀忠朱印状            | 江戸時代           | 1 通 |             |           |              |             |
| B 大方広仏華嚴経巻第四十一       | 高麗時代           | 1 帖 |             |           |              |             |
| B 般若心経               | 鎌倉時代           | 1 巻 |             |           |              |             |
| C 両界大曼荼羅             | (室町時代)         | 2 幅 |             |           |              |             |
| C 両界種子曼荼羅            | 江戸時代           | 2 幅 |             |           |              |             |
| D 弘法大師像              | 江戸時代           | 1 幅 | 5/31迄       |           |              |             |
| D 弘法大師像              | 鎌倉時代           | 1 幅 |             | 6/1～      |              |             |
| D 弘法大師像              | 室町時代           | 1 幅 |             |           |              |             |
| D 興教大師像              | 鎌倉時代           | 1 幅 |             |           |              |             |
| D 興教大師像              | 鎌倉時代～<br>南北朝時代 | 1 幅 |             |           |              |             |
| D 孔雀明王像              | 鎌倉時代           | 1 幅 |             |           |              |             |
| D 童子経曼荼羅             | 鎌倉時代           | 1 幅 |             |           |              |             |

休館日 令和 5 年 7 月 31 日 (月)、10 月 31 日 (火)、12 月 29 日 (金)～31 日 (日)  
令和 6 年 1 月 31 日 (水)、4 月 30 日 (火)

真言宗智山派総本山智積院宝物館  
〒六〇五-〇九五-一 京都市東山区東瓦町九六四  
令和五年(二〇二三)九月一日発行  
編集 教化部展示収蔵課

総本山智積院 WEB サイト  
<https://chisan.or.jp/worship/artifact>  
電話 075(532)5655  
\*名勝庭園は別途拝観料が必要  
(付添は有料)



\*小学生未満 無料  
\*団体 20 名以上で一人 50 円割引  
\*障がい者手帳提示で本人無料  
(付添は有料)

開館 午前 9 時から午後 4 時半 (最終受付は午後 4 時)  
宝物館拝観料 一般 500 円  
中学生 300 円  
小学生 200 円

## 宝物館 館内図

